

## は じ め に

2019年の世相を表す漢字は“令”でした。元号が平成から令和に改元され新たなスタートとして思い出に残る一年になりました。毎年のように全国各地で自然災害が発生し甚大な災害が起きました。特に近年、台風やゲリラ豪雨など、想定を越える災害が多発しています。過去には四万十市教育研究会が主催する研究大会を中止する年度もありましたが、幸い四万十市教育研究会の諸事業は、予定通り実施できました。1年間を振り返りご理解、ご協力頂いたことに対して感謝すると共に心からお礼申し上げます。

さて、今年も四万十市の小中学校では各校特色ある教育活動が実践され、主体的にチームで取り組んだ結果として、小中学校とも全国以上の学力に繋がったものと思います。特に中学校での成果が目に見える状況になり、四万十市の子ども達が生き生きと活動していることに我々も嬉しく思います。無限の伸びしろのある子ども達を輝かせる為に、更に創意工夫し意欲的な取組が推進されることを願います。

四万十市は教育課題に不登校の解消があります。学校に行けないケースを協議する中で、学習のこと、友だちのこと等が上げられます。また、近年人一倍配慮の必要な子どもが増え、発達障害の子どもへの支援をどのように具体的実践に繋がれば効果があるか等、一人ひとりの特性を十分に把握し個々の成長に結びつけるようご苦勞をされている事と存じます。普段から関係づくりを大切にしていくことが必要です。お互いの思いを理解し合い認識を共有し歩んでいくようにお願いします。

本年度も市内小・中学校の校内研修、サークル・各種部会から活動の集約を「教育しまんと」にまとめました。どうか、手に取って頂きこれからの実践の参考にして頂けたら事務局としても有難く嬉しく思います。また、この集約は四万十市教育研究所のホームページにも掲載しますのでご覧ください。

本年度も教育研究所並びに教育研究会の諸事業にご理解、ご協力頂きましたことを心より感謝しお礼申し上げます。今後益々、四万十市の教職員の研修が充実・発展出来ますようご期待申し上げます。

終わりに、現在四万十市教育研究所及び教育支援センターふれあい学級は、中央公民館2階を活用し業務に当たっています。ご存知かも知れませんが複合施設建設のため、令和2年3月31日をもって取り壊し作業が始まり移転することになりました。新しい活動場所は、旧田野川小学校の校長室・職員室になります。市内から少し離れた場所になりご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、今まで通り気軽に立ち寄って頂けるようにお願いします。

令和2年3月吉日

四万十市教育研究所  
所 長 小花 典明